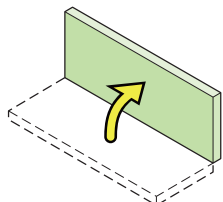


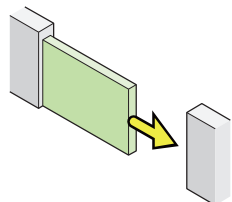
大切な資産を水害から守る!“防水版”のまめ知識

近年、異常気象による災害が増加しています。予測のつかない局地的豪雨による河川の氾濫や高潮・地震による津波などから、外部の水が建物へ浸入するのを防ぐために、防潮板(防水板)による浸水対策をご紹介します。

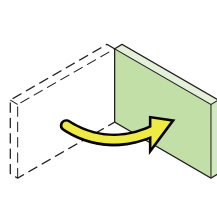
集中豪雨・都市型水害など、自然災害から大切な資産を守ります!



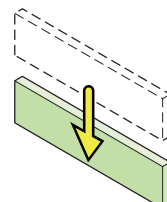
●起上式防水板
(床面埋込み)
電動/手動/ハンドル



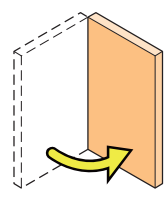
●スライド式防水板
幅広の開口部に最適



●スイング式防水板
幅広の開口部に最適



●脱着式防水板
階段やスロープに最適



●防水扉
独立した部屋の対策

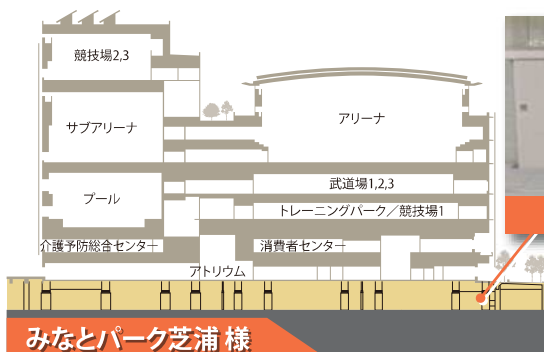
防水板・防水扉 [リンク](http://www.okamura.co.jp/product/security/public) <http://www.okamura.co.jp/product/security/public>

防水板・防水扉 事例



「肥後銀行」様は、創立90年という節目に、新本店ビルの建替えを実施されました。熊本市の「武者返し」と「棚田」をモチーフにした建物の外観が特徴的ですが、万一の災害に備え、お客様の安全性と高度な業務継続態勢を確保するという観点から、様々な防災対策を施されています。免震構造や72時間対応の非常用発電設備、電源の2系統化をはじめ、河川の氾濫に対してはハザードマップ上1mの地域であることを考慮し、高さ1.5mの「電動起上式防水板」を5か所設置しています。

有事の際も銀行の機能を止めない安心を



「みなとパーク芝浦」様では、東京都が想定する津波高さ(東京湾平均海面水位(TP)+2.39m)と地盤レベル(荒川河口測定点(AP)+3.8m)、さらには、防潮施設機能不全と液状化地盤沈下(50cm)を想定した場合の、津波避難施設になっているため、避難者を上階に避難させる際の、地下エレベーターの利用を確保することが必要となりました。都の津波想定では水没はしないという前提ですが、万が一地下浸水した場合でも、車いす等の身障者が安心して利用できるように浸水からエレベーターを守る防水扉を設置しました。

- ・4,300人超の避難所スペース・6日分の非常用電源供給/重要諸室の浸水対策
- ・防災備蓄倉庫の分散配置・天井落下防止対策・災害対策本部代替機能等

東日本大震災を踏まえた防災機能を強化

お問い合わせ先

KAMIHISA
株式会社カミヒサ

大阪府中央区大手通3丁目4番2号
TEL:06-6942-5391 FAX:06-6947-0886
e-mail:info2@kamihisa.co.jp